

見方を変えたら案外……

2年生ゼロ学期、どんな風に過ごしていますか？

既に何か目標を見つけた人、まだこれといった目標を完全に決めていない人、現在進行形で目標を探している人と、本当にそれぞれではないかと思います。

さて、2年生になると、皆さんはAとBの違いこそあれ、「世界史」を学ぶことになります。「歴史」＝「暗記」というイメージがあるかもしれませんが。実際、科目を選択する時、「暗記するの苦手だから、歴史は嫌だなあ」とぼやいている声もあちこちで聞こえていました。確かに「歴史」を勉強する時には覚えなければいけないことがたくさんあります。でも、それだけの科目だと思って「苦手意識」を持ったままで取り組むのはすごくもったいない気がします。

「歴史」というと年号とか、出来事とか制度とか色々なことを覚えなきゃいけないなんて固定概念のようなものが思い浮かびがちです。でも、「歴史」の背後には必ず、その時代に生きた人間の存在、人生があります。つまり、「歴史」＝「その時代を生きた人たちの物語」とも言えるのではないのでしょうか？

とはいえ…教科書だけでそうした物語を想像するのは、正直限界があります。そういう時こそ、「歴史」の内容を取り扱った小説や漫画、ドラマなどの出番です。現在、世に知られている歴史を扱った作品の多くはそこに多少の脚色やデフォルメなどもありますが、ほとんどが史実を元に作られています。

私自身、最近、「平家物語」というアニメ作品と『松かげに憩う』という漫画を観ました。どちらも歴史の内容を取り扱った作品です。

「平家物語」は有名な古典作品である『平家物語』を下敷きにして、平家一門の隆盛と滅亡を彼らと共に過ごした琵琶法師の少女の視点から描いたものです。『松かげに憩う』は幕末を生きた吉田松陰と彼とともに学んだ松下村塾の塾生たちの物語です。数話完結型でそれぞれの塾生の視点から、実際に起こった吉田松陰をめぐる歴史上の出来事が描かれています。アニメと漫画という分かりやすい媒体での表現だったので、内容がずっと頭に入ってきて、どちらの内容も面白かったです。

ぱっと見て「苦手だ」とか「嫌だ」と思うものは多々あるとは思いますが、ちょっと見方を変えたものに触れてみると、案外すんなり受け入れられるかもしれませんよ。

月	日	曜	行事予定	FT	課外	備考
2月	5	土	土曜講座B 駿台記述模試(1,2年採+希)			8:15 登校
	6	日				
	7	月	清掃強化週間Ⅲ(～2/10)	○	B	7:25 登校
	8	火	学年末考査1週間前	○	B	7:25 登校
	9	水		×	B	7:25 登校
	10	木	⑦クラス裁量	○	B	7:25 登校
	11	金	建国記念の日			
	12	土				
	13	日				
	14	月		×	×	8:15 登校
	15	火	学年末考査(① 古典・② 現社・③ 保健)	×	×	8:15 登校
	16	水	学年末考査(① 自習・② 数学(前)・③ 英表Ⅰ)	×	×	8:15 登校
	17	木	学年末考査(① 家庭基礎・② 数学(後)・③ 現代文)	×	×	8:15 登校
	18	金	学年末考査・歌唱指導(① コミュ英Ⅰ・② 化学基礎・③ LHR・歌唱指導)	×	×	8:15 登校
	19	土	土曜講座A			8:15 登校

